

家庭基礎(経済分野)のまとめとして、人生とお金との関わりを自分ごととして理解を深めていくために、「社会に出て気をつけたいお金のこと」、「大学生活とお金のこと」をテーマに栃木県銀行協会役員による講師派遣授業が実施されました。

この講義では、自立のために、お金を賢く管理できるようになるためのポイントを学んでいきました。

はじめに、高校生にも身近なお金のことについて三択クイズで確認しました。

Q1. 2021年の大卒20~24歳の賃金は平均いくらでしょう

Q2. スマートフォンの料金は平均いくらでしょう  
(大手3キャリアとサブブランド)

Q3. 宇都宮駅周辺の一人暮らし向けアパート・マンションの家賃相場はいくらでしょう

社会に出るということは、お金を自分で稼ぎ、稼いだお金の使い方(支出)を自分で管理することです。そこで、社会に出るまでに「備え」が必要であることから、本時は、自立のために生活に必要な「金融リテラシー」を身につけるための6つのポイントを学んでいくことが伝えられました。

### 1. ライフプランとお金

人生にはさまざまなライフイベントがあり、ライフイベントの実現にはお金が必要になります。そこで、就職活動、結婚、出産、自動車の購入に必要な金額の目安と、人生の三大資金(子どもの教育費、住宅の購入費、老後の生活費)について確認しました。

住宅購入費は約3,500万円で、ローンを活用して購入する 경우가ほとんどです。老後の生活費は年金だけで賄うには難しい場合もあるため、働いている現役時代からの貯蓄等が必要になります。理想の人生を送るためには、ライフプランに必要な資金計画を立て、貯蓄や投資など適切に選択し、お金を準備していくことが重要であることが伝えられました。

### 2. 金融サービスは賢く利用

はじめに、ローンを利用して自動車を購入する場合を考えてみました。

Q4. 返済期間5年間で100万円の自動車ローンを借りた場合、金利(年利)が10%と3%で支払う利息の総額の差はいくら

金利の差が支払い総額の差に大きく影響することが分かりました。

銀行や金融サービスには様々な違いがあります。大きな買い物をする場合と同様に、金融機関や金融サービスも比較検討したうえで賢く利用してほしい旨伝えられました。

### 3. クレジットの使いすぎに注意!

クレジットカードは後払いの決済方法で、三者間(利用者・加盟店・クレジット会社)の契約により成り立っている仕組みです。クレジットカードを利用した買い物では、商品を購入した時点で利用者はお金を支払わず、クレジット会社が加盟店に立替払いをします。その後、利用者がクレジットカード会社にお金を支払うこととなります。

クレジットカードによる支払い方法には、一括払い（ボーナス払い）、分割払い、リボルビング払いがあります。分割払いは分割（支払い）回数に応じて手数料がかかります。リボルビング払いは、毎月の支払い額を、利用代金の残高に対して「一定額または一定率」に決め、残高がなくなるまで支払う方法です。返済期間が長くなる傾向があることや、分割払いに比べて手数料が高くなる傾向があることが伝えられました。

クレジットカードは便利な反面、現金のやり取りがないためお金を使っている感覚が薄くなり、使い過ぎてしまう場合もあり注意が必要です。

続けて、自分の返済能力を超えてクレジットカードを使ってしまった場合に陥ってしまう多重債務について確認しました。

多重債務相談者が借金をしたきっかけ（複数回答）で最も多いのは、「低収入・収入の減少」であり、誰にでも起こりうるということが分かりました。クレジットカードの利用情報は「個人信用情報機関」に登録され、利用代金の延滞履歴があると将来の貸付（新たなクレジットカードの作成、住宅ローンの借り入れ等）に影響が生じること、大学進学時に利用されている貸与型奨学金も借金であり、クレジットやローンと同様に個人信用情報機関に登録されることが分かりました。

#### 4. 成年年齢の引下げとは？

2022年4月1日より、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことから、18歳になったらできること、20歳にならないとできないことについて確認しました。

未成年者の場合、未成年者取消権が認められ、契約時に未成年であること等を理由に契約の取消しができません。しかし、成年年齢引下げにより18歳から未成年者取消権が行使できなくなることから、正しい知識を身につけ、事前に内容をよく確認してから契約を行うこと、消費者トラブルに巻き込まれた場合は「消費者ホットライン188」に相談するよう伝えられました。

#### 5. おいしいもうけ話は危険！

お金に関するトラブルの一つに「銀行口座の売買」があります。簡単に高額なアルバイト代を手にすることができると、犯罪に加担しているという意識がない場合もあるそうです。銀行口座の売買は犯罪なので決して行ってはいけないことが伝えられました。

また、銀行口座の売買以外にも、安易なアルバイトの誘いには乗らないよう注意してほしい旨伝えられました。

#### 6. 大学生活とお金のこと

大学生活ではお金との関わりが増え、卒業後に社会に出る準備も必要になります。

ここで、高校卒業までにかかる教育費と大学在学中にかかる教育費を確認しました。ライフプランとお金でも確認したように幼稚園から大学まで国公立（大学文系）の場合は約791万円、私立（大学理系）の場合は約2,396万円になります。

大学進学せずに高校卒業後就職した場合、4年分の収入、仕事の資格や能力を身につけることができます。このことを踏まえ、大学進学をした場合は、費用や失った利益に見合った有意義な学生生活を送ることが重要であること、豊富にある時間を使い社会で活かせる能力を身につけることが望ましいことが伝えられました。

ここで改めて、貸与型奨学金は借金であり、卒業後の返済義務があること、個人信用情報機関に情報が登録されることから、経済的に困窮した場合は、無理はせず、減額返還や返済猶予の申請を検討してほしい旨伝えられました。

家庭科の授業で学んだ内容を振り返り確認することで、お金との関わり方を現実的・具体的に自分ごととして考える機会となったようでした。

